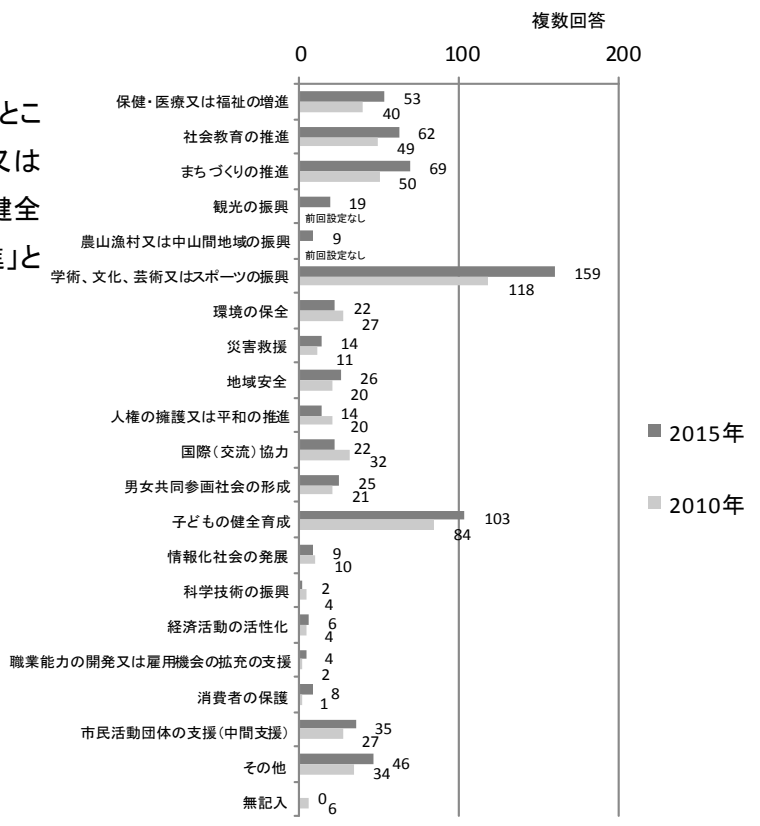


防府市市民活動団体アンケートの結果から

防府市市民活動支援センターでは、平成 27 年 12 月に防府市の市民活動団体の現状や課題などを把握し、今後の事業に反映させることを目的とした「防府市市民活動団体アンケート」を、防府市内を拠点に活動する 676 団体に対して実施しました。有効回収数は 369 団体でした。ここではその結果の一部を、前回調査(2010 年度実施)と比較しながらご報告します。

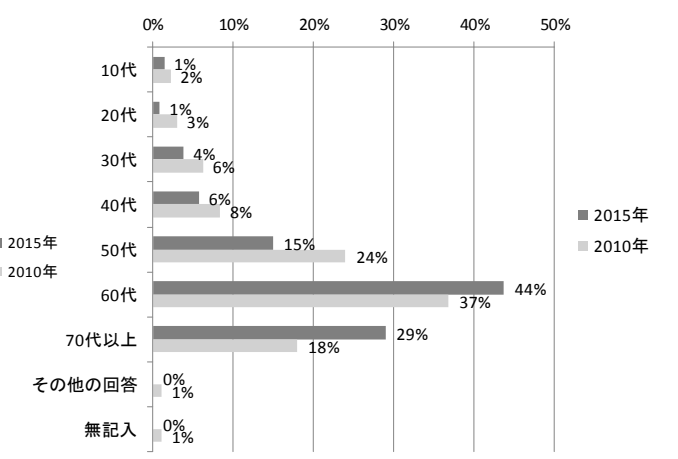
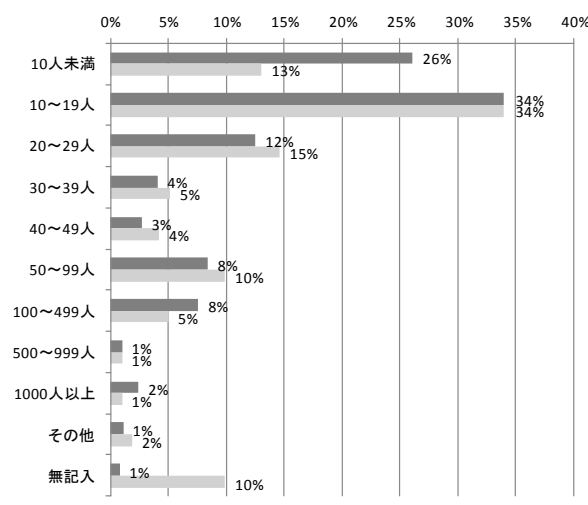
活動分野

活動分野を複数回答で選択してもらったところ、最も多かったのは「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」であり、ついで「子どもの健全育成」「まちづくりの推進」「社会教育の推進」となっており、前回の調査と同じ傾向です。



会員数、会員の年齢層

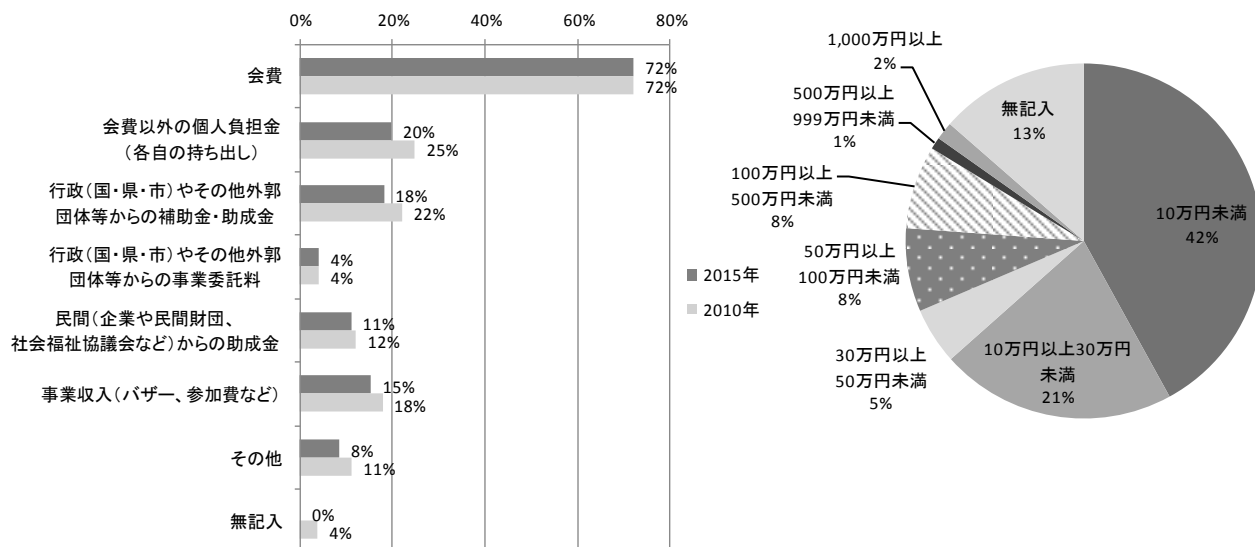
会員数は「10～19人」が最も多く、ついで「10人未満」となっており、20人未満の団体が6割を占めています。また、年齢層は「60代」が最も多く、ついで「70代以上」となっており、60代以上が7割を占め前回調査より上昇しています。



活動財源・支出総額

活動財源を複数回答で選択してもらったところ、「会費」が最も多く、ついで「会費以外の個人負担金（持ち出し）」「行政（国・県・市）やその他外郭団体等からの補助金・助成金」であり、前回の調査と同じ傾向です。なんらかの事業収入を得ている団体は 15%となっています。

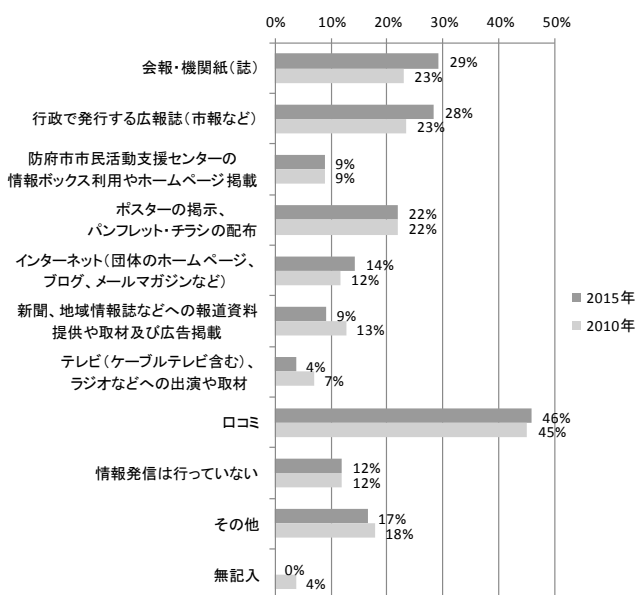
団体の支出総額は、「10万円未満」が最も多く、ついで「10万円以上 30万円未満」となっています。



活動趣旨や内容紹介 (情報発信)

情報の発信の方法を複数回答で選択してもらったところ、「ロコミ」がもっとも多く、ついで「会報・機関紙(誌)」「行政で発行する広報誌(市報など)」となっており、過去の調査と同じ傾向です。

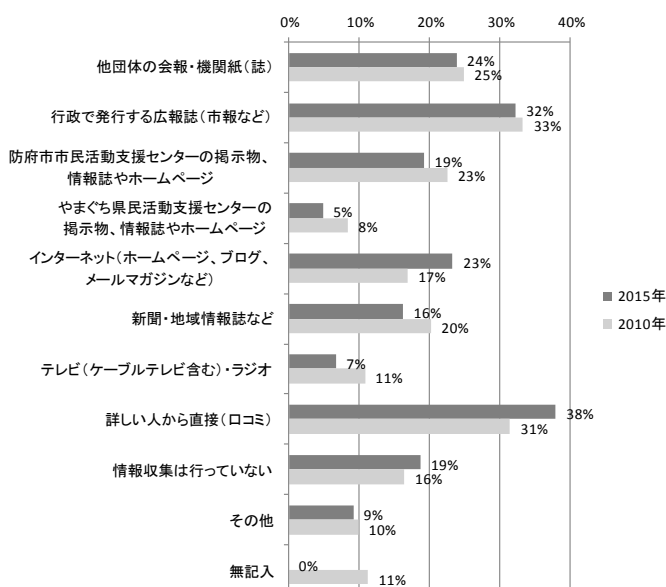
「インターネット(団体のホームページ、ブログ、メールマガジンなど)」は 14%であり、前回と同じ程度の数値となっています。



情報の入手方法

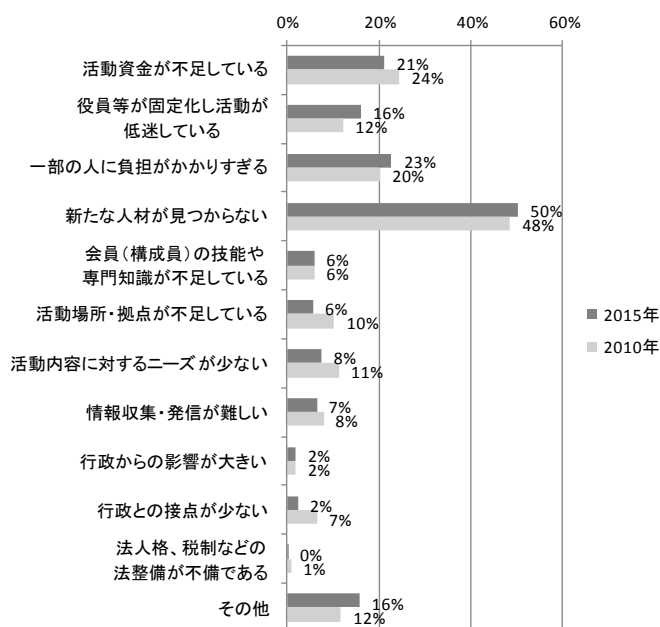
欲しい情報を入手している方法について複数回答で選択してもらったところ、「詳しい人から直接(口コミ)」が最も多く、ついで「行政で発行する広報誌(市報など)」「他団体の会報・機関紙(誌)」となっています。

「インターネット(ホームページ、ブログ、メールマガジンなど)」は 23%であり、前回の 17%と比べて増加しています。



団体が現在抱えている活動上の課題・問題点

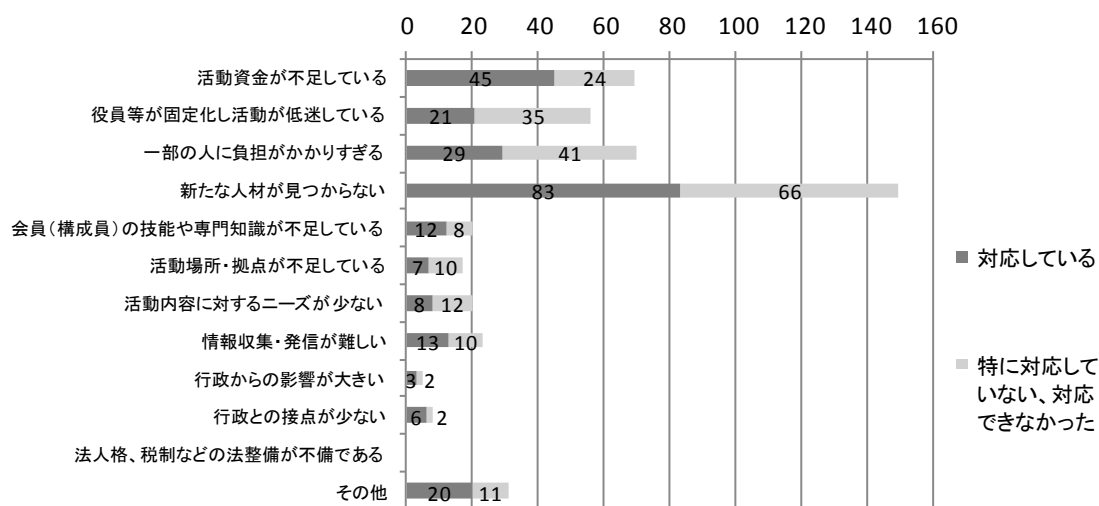
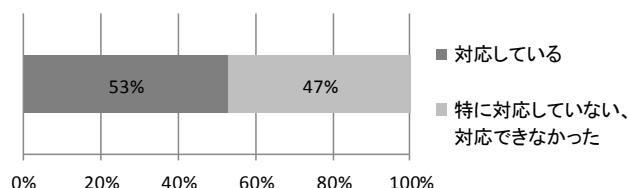
現在抱えている活動上の課題・問題点を複数回答で選択してもらったところ、「新たな人材が見つからない」が最も多く、ついで「一部の人に負担がかかりすぎる」「活動資金が不足している」となっています。



課題・問題点への対応について

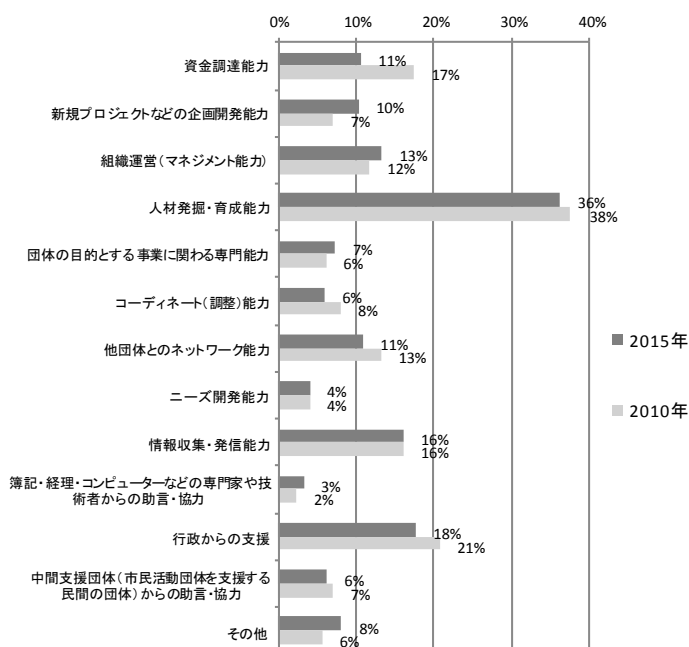
課題・問題点への対応は「対応している」が課題全体の半数となっています。

各課題・問題点に対して、「対応している」割合は、「新たな人材が見つからない」が最も高く、一方、「特に対応していない、対応できなかった」割合が高いのは「役員等が固定化し活動が低迷している」「一部の人に負担がかかりすぎる」となっています。



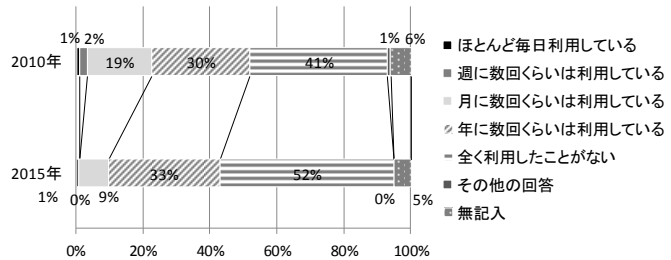
課題・問題点の解決策

課題・問題点を解決するために必要なことを複数回答で選択してもらったところ「人材発掘・育成能力」が最も多く、ついで「行政からの支援」「情報収集・発信能力」となっています。



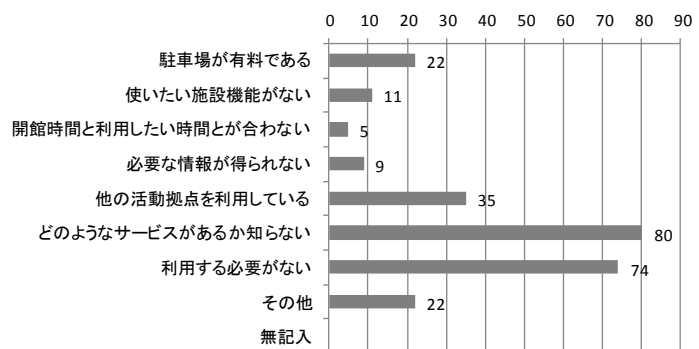
防府市市民活動支援センターの 利用について

「全く利用したことがない」という団体は約半数となっています。



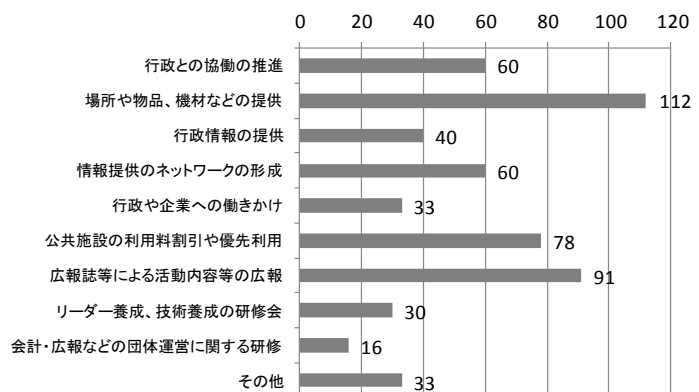
「全く利用したことがない」の理由

防府市市民活動支援センターを「全く利用したことがない」を選択した団体に対して、その理由を尋ねたところ、「どのようなサービスがあるか知らない」が最も多く、ついで「利用する必要がない」「他の活動拠点を利用している」となっています。



防府市市民活動支援センターへ 期待すること

防府市市民活動支援センターへ期待することを複数回答で選択してもらったところ、「場所や物品、機材などの提供」が最も多く、ついで「広報誌等による活動内容等の広報」「公共施設の利用料割引や優先利用」となっています。



協働について

行政・企業・学校・地域コミュニティなど様々な主体との協働について、「現在、協働している」又は「過去に協働したことがある」団体の割合は、35%となっています。

